

部局名	生涯学習部	所属名	青少年課	所属長名	石神 精吾	電 話	481-0306
-----	-------	-----	------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		3957		事務事業名称		子ども憲章推進（子どもの街づくり参加促進）事業						短縮コード		経常	3957		臨時	3956			
予算区分		会計	01	一般会計		款	10		教育費		項	05		社会教育費		目	01	社会教育総務費			
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市子ども憲章													
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																					
平成13年1月1日に制定。 作成は、市内の全小中学生に行ったアンケートを元に、私立を含めた各小中学校代表で組織された「八千代市子ども憲章策定起草委員会」により、子ども達自身の手で会議を重ね、市議会の本会議開催期間中に発表した。 平成14年3月17日に開催した制定記念大会後は、憲章の基本理念をより多くの子ども達や市民に理解してもらうために、プロジェクトD（どんぐり）と銘打ち、型にはまらないイベントを企画・実行する。																					
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）		02	人間尊重都市をめざして											
八千代市子ども憲章への理解が薄いため、その理念に基づいた事業を展開できていない。作っただけでは忘れ去られてしまう懸念がある。							大項目（節）		03	青少年健全育成											
							中 項 目		01	青少年健全育成											
							小項目（施策）		02	青少年健全育成事業の推進											
							細 項 目		03	健全な環境づくりの推進											
実施計画の計画事業																					
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～				計 画 事 業 費		千円								

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）		市内の小中学生							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）		※平成18年度に実際に行ったこと： 子ども憲章ピンバッジを作成し、青少年育成関係団体等の行事・イベントなどの際、ピンバッジの配布や看板を設置しての周知等を行い推進に協力いただいた。また、制定記念に作成した「八千代ふるさとかるた」を使用した「第1回八千代ふるさとかるた市民大会」を開催し、子ども憲章の周知を図った。							
		※平成19年度に計画していること： できるだけ多くの対象者に、子ども憲章の意味を理解してもらうように、青少年育成関係団体等の行事・イベントなどの際、ピンバッジの配布や看板の設置に協力いただきながら推進する。また、制定記念に制作した「八千代ふるさとかるた」を使用した「八千代ふるさとかるた市民大会」を昨年に引き続き開催し、子ども憲章についても周知を図る。							
意図 （何を狙っているのか）		「八千代市子ども憲章」の基本理念を子ども達や市民に理解してもらい、子どもにとっては自分たちの努力目標として、大人にとっては子どもを支援し、健全育成を推進していく上での指針としてもらう。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）		子ども達には、子ども憲章の基本理念を周知していくとともに、大人たちにもその理念を理解してもらい、それぞれの健全育成活動をはじめ、日常生活や学校生活、行政における各部署の事業や市民団体活動においても活用していただくことで、青少年の健全な環境づくりを推進できる。							
区 分			単位	1 7 年 度		1 8 年 度		1 9 年 度	
				実績		計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	市内の小中学生数	人	15, 229		15, 573	15, 573	15, 715	
	指標 2								
	指標 3								
活動指標	指標 1	ピンバッジの作成数	個	600		0	0	0	
	指標 2								
	指標 3								
成果指標	指標 1	配布したピンバッジ数	個	248		300	537	500	
	指標 2								
	指標 3								
上位成果指標	指標 1								
	指標 2								
	指標 3								

コード		3957	事務事業名称	子ども憲章推進（子どもの街づくり参加促進）事業			所属名	青少年課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	100	0	0	0	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			子ども憲章バッジ99,540円	なし	なし	なし	
人件費(B)			千円	5,471.2	6,667.9	6,667.9	6,667.9	
トータルコスト(A)+(B)			千円	5,571.2	6,667.9	6,667.9	6,667.9	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		子ども憲章の理念を理解し，その理念に基づいた事業を展開する。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		子ども憲章を制定し，その理念に基づいた事業を継続する必要がある。青少年健全育成活動を目的とする団体，学校，行政機関等の協力のもとで，理念に基づいた事業を展開し続けることで，より広く浸透させることができる。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		子ども憲章は市が制定したものであり，推進していくことは行政の責任である。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		子どものために作られたものであり，子どもに理解してもらうものであるが，その推進には大人の理解が必要となるため，子どもだけではなく大人にも理解してもらい，大人から子どもに浸透させるのも一つの方法である。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性がある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		青少年関係団体や各小中学校へ子ども憲章を訴え，協力を得て行事を実施していくとともに，その理念に基づいた事業を展開してもらえるように働きかけていき，ピンバッジを利用させていただく。					
		☐ 臨時的任用職員等の活用							
		☐ I T化等業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）		
		☒ 上記以外の方法			2		実施主体 （所管部署）		
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		青少年学校外活動支援事業団体，社会教育関係団体等の活動の際に協力をいただいて子ども憲章の啓発などを行っているが，活動の指導者や参加者に対してしか浸透させることができていない。子ども憲章を市内全域に浸透させるためには，これまで以上に広く関係機関等の理解を得て，協力をいただきながら推進していく必要がある。			
	☐ ない								

コード	3957	事務事業名称	子ども憲章推進（子どもの街づくり参加促進）事業				所属名	青少年課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			関係機関の協力を得ながら行事を実施していくとともに、子ども憲章を理解してもらい、その理念に基づいた事業を推進していただけるよう働きかけていく。また、年4回市内小学校全児童に子ども情報誌「やっぴい」を発行している八千代市子どもセンターの協力をいただき、平成18年度秋号から子ども憲章を掲載して市内の子ども達に広く浸透させていくとともに子ども憲章制定記念に作成された「八千代ふるさとかるた」を使用したかるた大会を開催し、広く市民に浸透させていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			子ども情報誌「やっぴい」に掲載させていただくことや関係団体の協力を得ることにより、多くの子どもの目に触れる機会を得ることができ、市内に子ども憲章を浸透させることができる。また、「第1回八千代ふるさとかるた市民大会」の運営にあたる費用について、賞品はすべて寄付により実施した。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
子ども憲章ピンバッジの評判はいい。これを利用して事業を展開していけばいいのではないかという意見もいただいた。									

所属長コメント	単独での行事、イベントの企画を実施するには厳しい状況にあるので、青少年育成団体等の協力を得ながら事業に取り組むことができた。特に市民から応募して実施した「八千代ふるさとかるた市民大会」は多くの協力者のもとで実施できた。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			積極的に推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									